

【中国】広東省「廃棄物ゼロ都市」計画を発表

広東省政府は 11 日、「広東省全域の「無廃城市（以下、廃棄物ゼロ都市）」建設作業方案」（以下「方案」）を発表し、広東省の「廃棄物ゼロ都市」建設試験事業を基礎に、全域で「無廃都市」建設を推進することを明らかにした¹。本稿では「方案」の特に重視している点を中心に説明する。

「廃棄物ゼロ都市」とは、2019 年 1 月、国務院弁公庁「廃棄物ゼロ都市建設試験事業方案」で発表された概念であり、「イノベーション、調和、グリーン、開放、共有の新しい発展理念を基盤として、グリーン発展方式と生活様式の形成を推進することにより、固体廃棄物の発生源の減量と資源の再利用を持続的に推進し、埋立量を可能な限り減少させ、固体廃棄物の生態環境における影響を最小限に抑える都市発展モデル²」である。

2022 年 4 月、生態環境部は「十四五（第 14 次五カ年計画）時期『廃棄物ゼロ都市』建設リスト³」を発表し、広東省広州市、深圳市などもそのリストに掲載され、これにより「廃棄物ゼロ都市」建設が推進されることになった。そして広州市や深圳市において関連の政策文書⁴が発表され、各地で計画に基づいた建設が行われ、今回の省レベルの建設計画の土台となった。

「方案」の主要目標は、以下のとおりである。

- ①2025 年までに広東省内の地級市以上の行政単位全域で「廃棄物ゼロ都市」を建設し、固体廃棄物の産出を持続的に低減させる。

¹ 广东省人民政府《广东省人民政府办公厅关于印发广东省全域“无废城市”建设工作方案的通知》，2025 年 6 月 11 日 https://www.gd.gov.cn/zwgk/wjk/qbwj/ybh/content/post_4723192.html

² 中华人民共和国中央人民政府《国务院办公厅关于印发“无废城市”建设试点工作方案的通知》，2019 年 1 月 21 日 https://www.gov.cn/zhengce/content/2019-01/21/content_5359620.htm

³ 生态环境部《关于发布“十四五”时期“无废城市”建设名单的通知》，2022 年 4 月 24 日 https://www.mee.gov.cn/xxgk2018/xxgk/xxgk06/202204/t20220425_975920.html

⁴ 生态环境部《广州市“无废城市”建设试点实施方案》，2022 年 5 月 18 日 <https://www.mee.gov.cn/home/ztbd/2020/wfcsjssdgz/sdjz/ssfa/202208/P020220818583472664448.pdf>

生态环境部《深圳市“十四五”时期“无废城市”建设实施方案》，2022 年 5 月 27 日 <https://www.mee.gov.cn/home/ztbd/2020/wfcsjssdgz/sdjz/ssfa/202208/P020220818585091038313.pdf>

②2027 年までに危険廃棄物の埋め立て処理の割合を低下させ、固体廃棄物の産出を明確に減少させる一方、資源の再利用率を上昇させる。

③2035 年までに、広東省全域で「廃棄物ゼロ都市」の建設を完了させ、固体廃棄物の産出指標および循環利用レベル全体を全国トップレベルに押し上げる。

「方案」は、2025 年までに広東省の地級市以上の市において「廃棄物ゼロ都市」の建設を全面的に推進する目標を掲げる。2027 年までに、危険廃棄物の埋立処分量の割合に関して安定的に減少傾向を示すようにし、固体廃棄物の発生量を著しく減少させ、資源化利用率を大きく向上させるといしてる。また 2035 年までに、全省全域で「廃棄物ゼロ都市」の実現を強調している。

「方案」では、①固体廃棄物の地域間移転・処分のエコ補償メカニズムの確立を模索し、②固体廃棄物情報統計制度を確立し、健全化し、各種固体廃棄物統計の範囲、規格および方法を整備し、固体廃棄物データの共有を推進することを提起している。

科学技術イノベーションの面では、固体廃棄物リサイクルの核心的技術の研究、固体廃棄物利用処理による（汚染物質の排出削減と炭素排出量の低減技術、製造技術および設備の研究開発を展開し、企業がカーボンインクルージョン（DX と脱炭素化を組み合わせた試行的な取り組み）と自主的な排出削減プロジェクトの開発に参加することを奨励し、同時に重点再生材料のカーボンフットプリント計算基準と方法の研究を展開する。

資源の循環利用は「廃棄物ゼロ都市」建設における重要点であり、「方案」は科学的に「回収点・中継所・選別センター」で構成される一連の再生資源回収システムチェーンを構築し、「住民→個人回収リサイクラー→回収ステーション→選別センター→廃棄業者」という順番のエコクローズドループを構築し、各県（市、区）は少なくとも 1 つの再生資源選別センターを建設し、生活ごみ分類ステーション、廃棄物資回収ステーション、一般工業固体廃棄物回収ステーションの 3 つのネットワークの融合を模索する。

同時に、資源循環利用産業を発展させなければならない。ハイレベルな現代版「都市鉱物」基地と循環経済産業パークを建設し、広州、深圳、珠江口西岸、汕潮揭（汕頭・潮州・揭陽）、湛茂（湛江・茂名）の 5 大都市圏を重点として、地域性廃棄物循環利用重点プロジェクトを推進するとしている。

注目すべき点は、「方案」では特定の分野における廃棄物ゼロの達成について明確な要求を提示している点である。

工業分野では、「方案」は総合利用を強調し、工業固体廃棄物の産業パーク内・工場内での循環利用を促進し、工業炉や生活ごみ焼却施設による一般工業固体廃棄物の共同処理を推進するとともに、大型固体廃棄物からの建材生産、埋め戻し・埋め立て、生態系回復、土壤汚染対策などにおける大規模利用を推進する。また、動力電池の製造・回収・利用などにおける全工程の管理を強化し、風力発電・太陽光発電企業においては使用済み設備の処理責任メカニズムを確立するとしている。

「方案」はさらに、グリーン鉱山建設の推進を提言している。特に汚染された農地が集中する地域や重金属鉱山地域を重点エリアとして、歴史的に残存する固体廃棄物貯蔵場の全面的な調査により実情を把握し、既存の固体廃棄物を段階的に削減する。鉱山地域の生態環境の著しい改善、鉱物資源の利用効率と開発保護水準の向上などを旨とする。

農業分野においては、「方案」はエコグリーン業モデルの普及を推進し、効率的かつ現代的な畜産・養殖場の建設を推進し、標準化・大規模化を特徴とするエコグリーン畜産・養殖の発展を促進する。栽培・養殖循環農業モデルの普及を推進し、立体養殖や海洋牧場など、生態的に健康な養殖モデルの普及を奨励する。

同時に、農業固形廃棄物の回収利用を強化する。畜産業者の糞尿処理施設設備の整備を規範化し、病死した家畜の無害化処理の監視管理体制を確立する。また農薬事業者、販売業者、県レベル回収ステーションからなる三段階の農薬包装廃棄物回収システムを構築し、「生産・販売する者が回収する」という有効な回収メカニズムを確立する。

また「方案」は、グリーン低炭素生活方式を提唱し、エコ設計の推進、製品再利用の可能性の向上、過剰包装に対する厳格な管理、宅配便の簡易包装の普及を提言している。同時に、生活ごみの分類処理システムを整備し、生活ごみの分類処理の全過程における管理、生活ごみチェーンの最適化、また全市民が参加する意識の向上にも言及している。

上記に関連し、プラスチックごみ対策に関しては、プラスチック汚染の全工程管理を強化し、プラスチック製品が使用される最初のシーンにおける削減を継続的に推進し、その例として竹や紙によるプラスチック代替を推奨している。さらに、海洋汚染の原因となる陸地からのごみの制御を行い、海岸のごみ清掃の定期的な実施などの持続可能な仕組みを確立することを提言している。

広東省政府から発表された「方案」ではあるが、広東省を含むいわゆる「大湾区」内での協力・交流を強調し、共同で「廃棄物ゼロベイエリア」建設を推進するとしている。具体的な方針としては、大湾区内の固体廃棄物汚染防止規則の連携とシステムの調整を推進し、統

一的な固体廃棄物管理規範基準の制定を模索する。また地域横断的な廃棄物循環利用プロジェクトの計画と建設を統括的に推進している。

(石川 晶)

参考：南方日报《我省全域推进“无废城市”建设》，2025 年 6 月 12 日

https://epaper.nfnews.com/nfdaily/html/202506/12/content_10138399.html